

作成日： 2001年 11月 09日
改定日： 2012年 04月 01日
改定日： 2015年 04月 01日
改定日： 2019年 04月 01日
改定日： 2020年 01月 14日
改定日： 2021年 01月 05日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の名称	カラットコーク ECC/
会社名	株式会社 LIXIL
住所	507-0901 岐阜県多治見市笠原町 4022-23
担当部署	LWT Japan タイル事業部 タイル製造部 タイル国内調達センター 品質技術課
電話番号	0572-43-3237
FAX番号	0572-43-3214

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類	
物理化学的危険性	分類対象外
健康に対する有害性	区分に該当しない、分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）： 分類できない 水生環境有害性（長期間）： 分類できない オゾン層への有害性： 分類できない
ラベル要素； 該当しない	

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	アクリルエマルジョン系目地剤
成分及び濃度範囲	アクリル共重合樹脂等： 40～50% 無機質充填材： 45～55% 顔料等： 1～10% 酸化チタン： 0.1～1%未満 鉱油： 0.1～1%未満 軽量フィラー： 1～10%

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気が新鮮な場所へ移動後安静にし、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症などの症状が発生した場合は、速やかに皮膚科医の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上まぶたの裏側を含めて洗眼した後（コンタクトレンズ使用者はできる限りコンタクトレンズを外して）眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂、霧状水
使ってはならない消火剤	棒状水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。
特有の危険有害性	燃焼生成ガスは有毒な一酸化炭素を含む。
消火を行う者の保護	適切な保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業時は、必ず保護具を着用し、漏出物に触れない。
(8. ばく露防止及び保護措置の項目参照)

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の
方法及び機材
二次災害の防止策

漏出物を直接、河川や下水に流してはいけない。
密閉できる容器に回収後、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に
委託処理する。
知見なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
安全取扱注意事項
接触回避
衛生対策

8. ばく露防止及び保護措置の項目参照
保護具を着用する。(8. ばく露防止及び保護措置の項目参照)
10. 安定性及び反応性の項目参照
取り扱い後は手をよく洗う。

保管

安全な保管条件
安全な容器包装材料

直射日光を避け、温度は5℃以下35℃以上にならないよう保管する。
製品の容器包装材料にて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度
設備対策
保護具

設定されていない。
状況に応じ換気装置を設置する。

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具
不浸透性保護手袋
保護眼鏡
長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態
色
臭い
可燃性
引火点
自然発火点
pH
動粘性率
密度又は相対密度

均質なペースト状
全71色 (LIXIL品番参照)
エマルジョン臭
有り
なし
450℃以上
7～9
不明
約1.0 (20℃)

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触禁止物質
危険有害な分解生成物

なし。
安全な保管条件下では安定。
知見なし。
知見なし。
知見なし。

11. 有害性情報 (鉱油)

*酸化チタンIVは、全項目「区分に該当しない」または「分類できない」に該当

急性毒性
経口
経皮
吸入

データなし。※分類できない
データなし。※分類できない
区分4 (ミスト)。※分類基準により「区分に該当しない」

皮膚腐食性・刺激性
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性
 呼吸器感作性又は皮膚感作性
 生殖細胞変異原性
 発がん性
 生殖毒性
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露）
 誤えん有害性

区分3 ※分類基準により「区分に該当しない」
 区分2B ※分類基準により「区分に該当しない」
 データなし。※分類できないに該当
 区分2 ※分類基準により「区分に該当しない」
 データなし。※分類できないに該当
 データなし。※分類できないに該当
 区分2（肺）。※分類基準により「区分に該当しない」
 区分1（肺、皮膚）。※分類基準により「区分に該当しない」
 区分1。※分類基準により「区分に該当しない」

12. 環境影響状況

生態毒性

河川等に流出した場合はエマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため魚類が死亡する可能性がある。

残留性・分解性

知見なし。

生態蓄積性

知見なし。

土壤中の移動性

知見なし。

オゾン層への有害性

知見なし。

水生環境急性有害性

データなし。（鉍油） ※分類できないに該当

水生環境慢性有害性

データなし。（鉍油） ※分類できないに該当

13. 廃棄上の注意

製品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

非該当

品名（国連輸送名）

非該当

国連分類

非該当

容器等級

非該当

海洋汚染物質

非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法

- ・第57条、政令第18条別表第9 名称等を表示すべき危険物及び有害物
- ・第57条の2、政令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物

政令番号	物質名称	表示（閾値）	通知（閾値）
168	鉍油	非該当（ $\geq 1\%$ ）	該当（ $\geq 0.1\%$ ）
191	酸化チタンIV	非該当（ $\geq 1\%$ ）	該当（ $\geq 0.1\%$ ）

化学物質排出把握管理促進

非該当

（PRTR）法

毒物劇物取締法

非該当

16. その他の情報

※参考文献

- ・JIS Z7252（2019）「GHSに基づく化学物質の分類方法」
- ・JIS Z7253（2019）「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」
- ・使用原料メーカー提供の安全データシート

※前回からの改訂内容

- ①LIXIL品番8色追加（DNT1～3、GRQ1、NRC2、3、TOR2、3）
- ②最新情報による見直し